

# 名城法学

第66巻 第4号

論 説

わが国の少年司法制度と修復的司法

—— イギリスとニュージーランドを中心に ——

..... 木村裕三 ..... 1

即時取得制度の証拠法上の機能と現代的意義

..... 杉浦林太郎 ..... 29

マンション区分所有建物における管理費等の負担割合

..... 野口大作 ..... 53

共有物分割と遺産分割

..... 柳勝司 ..... 83

戦前日本外務省の人事と組織

—— キャリアパス分析の方法を手がかりに ——

..... 矢嶋光 ..... 208

法学会記事

名城大学法学会規約

名城大学法学会

2017

---

法学会記事

---

公法研究会（修士論文報告会）

- 会 場 10号館2階第1大会議室  
日 時 平成29年1月19日（木）13時30分より  
報告者 松岡 孝氏（名城大学大学院法学研究科修士課程）  
報告題目 「消費税法上の資産の譲渡等の帰属年度」  
報告者 尹 淳実氏（名城大学大学院法学研究科修士課程）  
報告題目 「企業組織再編成に係る租税回避行為と関連規定の解釈」  
包括的否認規定の意義

法学会講演会

- 会 場 10号館2階第1大会議室  
日 時 平成28年6月24日（金）10時50分より  
報告者 陳 昭如氏（台湾大学法律学院・教授）  
報告題目 「仕事と家庭の両立難を超えて  
フェミニズムの観点から台湾の母性保護論争を論ず」  
報告者 顔 厥安氏（台湾大学法律学院・教授）  
報告題目 「家庭の政治と法哲学 予備的考察」

- 会 場 共通講義棟南S-504教室  
日 時 平成28年10月17日（月）14時50分より  
報告者 パク・ヨンチュル氏（韓国西江大学・教授）  
報告題目 「韓国における国民参与の刑事裁判」

## 法学会記事

### 会員の消息

留 学 松本 俊太氏（政治学・准教授）が下記の通り海外留学より戻られた。

留学期間 平成 27 年 8 月 23 日から平成 28 年 8 月 22 日まで

留 学 先 メリーランド大学

留 学 前田 智彦氏（民事訴訟法・教授）が下記の通り海外留学より戻られた。

留学期間 平成 27 年 9 月 1 日から平成 28 年 8 月 31 日まで

留 学 先 ミシガン大学ロースクール

退 会 網中 政機氏（憲法・教授）、片桐 善衛氏（民法・教授）が平成 28 年 3 月に定年退職により退会された。

入 会 植木 淳氏（憲法・教授）、杉浦 林太郎氏（民法・助教）、野口 大作氏（民法・教授）が平成 28 年 4 月より会員になられた。

名城大学法学会規約

(名称)

第1条 本会は、名城大学法学会と称する。

(事務所)

第2条 本会の事務所は、名城大学法学部事務室に置く。

(目的)

第3条 本会は、会員の法学研究の向上をはかり、もってわが国法学研究の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、その目的を達するために下記の事業を行う。

- 1 紀要「名城法学」・研究選書等の刊行
- 2 定例研究会の開催
- 3 学術講演会の開催
- 4 会員の研究の充実及び勉学の向上に必要な事業
- 5 その他必要な事業

(会員)

第5条 本会は、次の者をもって組織する。

普通会员

- 1 本学法学部専任教員（法律学・政治学担当）
- 2 本学法学部・法学研究科学生

特別会員

- 1 賛助会員
  - (イ) 本学法学部特任・契約教員（法律学・政治学担当）
  - (ロ) 本学法学部・法学研究科卒業生
  - (ハ) 本会の趣旨に賛同し、理事会の承認を経た者

- 2 名誉会員

(イ) 本会の発展に特に功労があり、評議員会の決議を経た者

(会費)

第6条 会員は、別表に定めるところにより、会費を納めるものとする。

## 法学会規約

### (役員)

第7条 本会は、次の役員を置く。

- 1 会 長 1人
- 2 理 事 若干人
- 3 監 事 若干人

### (役員を選任及び任期)

第8条 会長は、法学部長をもって充てる。

役員は、評議員の中から会長が指名し、評議員会の承認を得る。

役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

### (役員の仕事)

第9条 会長は、会務を統括し、会議の議長となり本会を代表する。

会長及び理事ならびに監事は理事会を組織する。

理事には、編集、会計及び庶務の担当を設ける。

監事は、会計及び会務執行の状況を監査する。

### (評議員会)

第10条 評議員会は、毎年1回以上開く。

評議員は、教員の普通会員をもって充て、評議員会を組織し、本会の最高の意思を決する。

### (議決)

第11条 評議員会は、評議員の過半数の出席をもって成立し、その議事は

出席評議員の過半数をもって決する。

### (議事)

第12条 評議員会は、次の事項を議決する。

- 1 予算、決算に関する事項
- 2 事業計画に関する事項
- 3 規約改正に関する事項
- 4 その他、理事会が必要と認める事項

### (事務処理)

第13条 本会の事務は、法学部事務室で行う。

(規約の改正)

第14条 本規約を改正するには、評議員会において出席評議員の3分の2以上の賛成を得なければならない。

(会計年度)

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(内規)

第16条 この規約の施行に関し必要な事項は、内規でこれを定める。

附 則

この規約は昭和25年6月25日から施行する。

附 則

この規約は平成2年4月26日から施行する。

附 則

この規約は平成11年3月11日から施行する。

教員の年会費は平成11年度より学生会員の入会金及び年会費は平成12年度から実施する。

附 則

この規約は平成15年4月24日から施行する。

附 則

この規約は平成23年11月10日から施行する。

別表 (第6条関係)

普通会員 (教員)	入会金	5,000 円	会費	年額	10,000 円
普通会員 (学生)	入会金	5,000 円	会費	年額	7,000 円
賛助会員	入会金	5,000 円	会費	年額	10,000 円

\* 従来、普通会員であった賛助会員は、入会金を納めることを要しない。

\* 名誉会員は、入会金及び会費を納めることを要しない。

前 号 目 次 (第 66 卷 第 3 号)

献呈の辞 .....	iii
論 説	
金銭債権の相続と遺産分割との関係についての一考察 —— 近時の最高裁判例を踏まえて —— .....	小 池 邦 吉 ..... 1
法定監督義務者責任の立法史的考察 —— 明治初期の民法草案および旧民法を対象に —— .....	錢 偉 栄 ..... 25
債権法改正後の代位訴訟・取消訴訟における参加のあり方 .....	高 須 順 一 ..... 55
誤振込によって成立した預金に関するいくつかの問題 .....	西 牧 正 義 ..... 85
遅延利息に重利の規定の適用はあるか —— ドイツ法の議論を参考として —— .....	益 井 公 司 ..... 109
無権代理と相続に関する一考察 —— 資格併存貫徹説の理論的妥当性 —— .....	松 田 佳 久 ..... 123
ファウルボールによる観客の受傷事故と球場管理者等の責任 .....	宮 本 健 蔵 ..... 155

「意思能力」を考える

——「意思能力」を定義する場合の留意点を中心として——

..... 村 田 彰 ..... 183

権利と公共の福祉

——民法1条1項の序論的研究—— ..... 山 里 盛 文 ..... 229

ファイナンス・リースにおける目的物の担保的性質について

..... 山 下 良 ..... 255

定型約款に関する債権法改正の考察 ..... 山 田 創 一 ..... 273

コモロ上でのインタープリター ..... 川 元 主 税 ..... 295

米国におけるプロキシ・アクセス元年 ..... 吉 行 幾 真 ..... 321

空港民営化とPFI導入の政治過程

——新東京国際空港公団民営化と関西・伊丹両空港の

統合問題を事例として—— ..... 高 松 淳 也 ..... 345

片桐 善衛教授 略歴・著作目録 ..... 381



評 議 員 (五十音順)

崇義作理輔彦子太光司武二弘真互

美

博大乃亮智恵俊 勝 雄忠幾

田上口川井田本嶋 澤沢本行邊

井 谷

仁野野長平前松松矢柳柳柳山吉渡

會計委員

庶務委員  
編集委員

庶務委員

一樹吉淳記佳美税介三敦義彦郎也昭

太

愼正亮 雅克勝主宏裕 一文林淳

木川藤木本藤原元見村藤藤藤浦松口

淺伊伊植榎加川川北木近佐佐杉高谷

編集委員  
會長  
監 査

庶務委員

會計委員  
庶務委員

執筆者 (掲載順)

木村裕三 名城大学法学部教授

杉浦林太郎 名城大学法学部助教

野口大作 名城大学法学部教授

柳勝司 名城大学法学部教授

矢嶋光 名城大学法学部助教

名城法学 第66巻 第4号

平成29年3月16日印刷

平成29年3月22日発行

〒468-8502

名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

編集兼 名城大学法学会  
発行者 代表者 伊川正樹

〒466-0025

名古屋市昭和区下構町2-22

印刷所 株式会社一誠社

# MEIJO HOGAKU

## MEIJO LAW REVIEW

Vol. 66 No. 4 2017

### Articles

Japanese Juvenile Justice System and Restorative Justice  
..... Yuzo KIMURA ..... 1

The function and the meaning of the good faith acquisition  
of movables in the modern society  
..... Rintaro SUGIURA ..... 29

Share Rate of the Management Costs in Condominium  
..... Daisaku NOGUCHI ..... 53

La division de copropriété et la division de héritage  
..... Katsuji YANAGI ..... 83

An Analysis of Career Patterns in Foreign Ministry  
of Japan, 1886-1945  
..... Akira YAJIMA ..... 208

### Report of the Association

Published Quarterly by  
The Meijo University  
Law Association